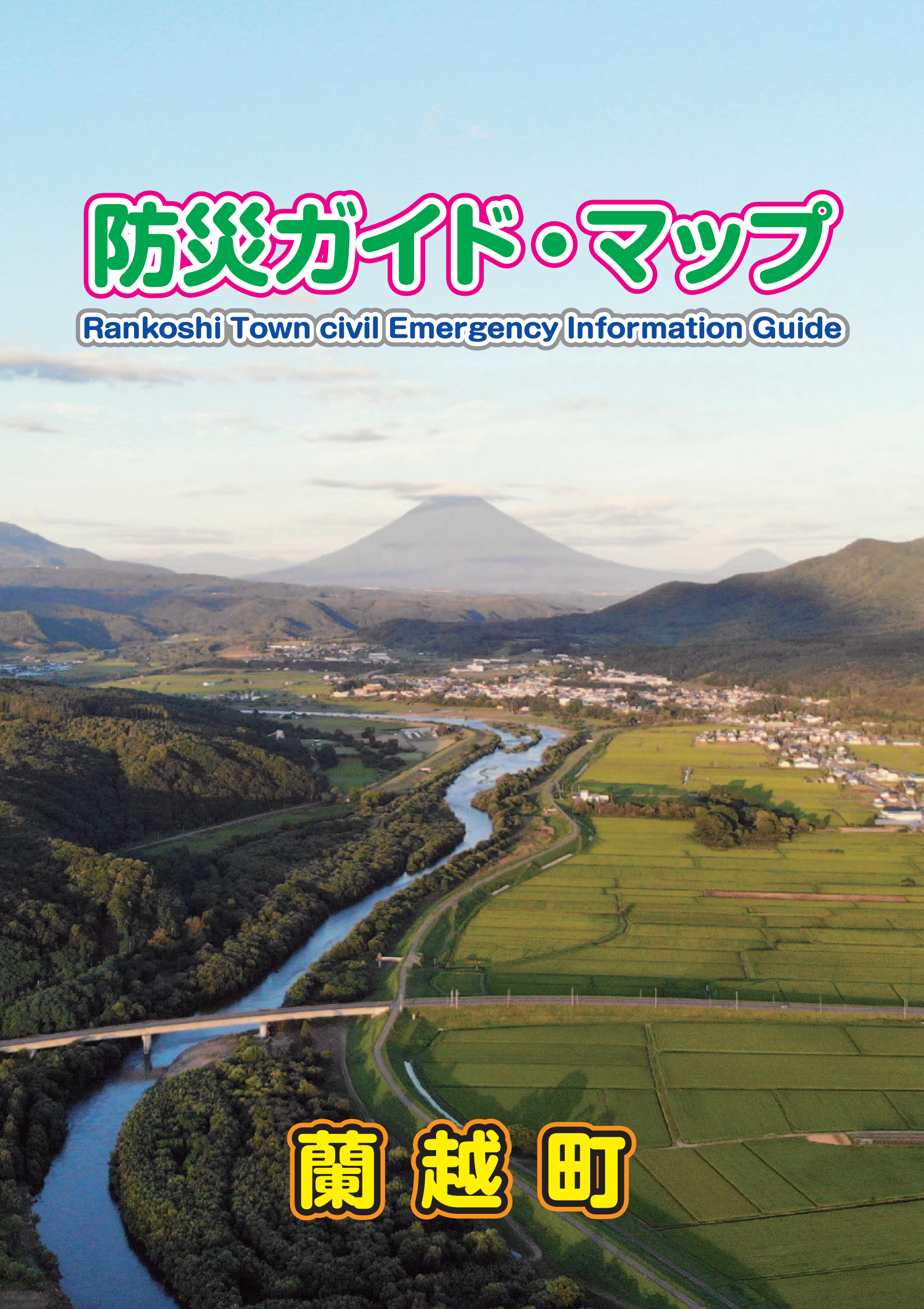
防災ガイド・マップ

Rankoshi Town civil Emergency Information Guide



蘭越町

町民のみなさまへ

自然災害に対応するためには町民一人ひとりの活動や地域内の協力による活動が重要です。

災害による被害をできるだけ少なくする（減災）ためには、「自助」・「共助」・「公助」３つの連携が必要であると言われています。

自助・・・町民一人ひとりが自分の命は自分で守る。自ら取り組む防災
- 日ごろから、災害が発生した時の避難行動を考えておく
- 防災・減災の考えを自分の生活習慣に取り入れる
  （日常生活の習慣になっている行動が役に立つときがある）

共助・・・町民が連携してまちの安全はみんなで守る
- 自分たちの地域は自分たちで守る
- 地域の連携、地域ぐるみの協力体制を活かす「自主防災組織」

公助・・・行政が災害に強いまちづくりを進める
- 地域防災力向上
- 自助や共助では解決できない問題を行政が支援

災害に立ち向かうためには、ご家族や地域で「防災用品などを日ごろから備える」、「自分の家の安全対策をしておく」、「地域の危険箇所を知る」、「災害時の連絡方法や避難方法について話し合う」など、日ごろからの「備え」と「心構え」が必要です。

「蘭越町防災ガイド・マップ」には、土砂災害・浸水想定区域・避難所等の災害時に避難を判断する際に必要な情報を掲載しています。

「蘭越町防災ガイド・マップ」を身近な場所に保管していただき、ご家庭や地域といった身のまわりでどのような災害の危険が及ぶのかを考え、被害をできるだけ少なくするために、防災・減災について考える際の参考にしていただければ幸いです。

蘭　越　町

索　引

町民のみなさまへ	1
警戒レベルを用いた避難勧告等の発令	2
気象庁が発表する情報について	3
津波対策	4
洪水ハザード情報について	5
風水害対策	6
地震対策	7
地震の震度表	8
非常時持出品の準備＆チェック	9
わが家の防災対策を確認しよう	10
原子力防災対策①	11
原子力防災対策②	12
原子力防災対策③	13
原子力防災対策④	14
原子力防災対策⑤	15
要配慮者とは？	16
火災対策	17
暴風雪対策	18
指定避難場所・避難所一覧	19
全体図	20
河川洪水防災マップ（市街地区中心図）	21・22
河川洪水防災マップ（広域図①～⑦）	23～35
河川洪水防災マップ（昆布地区中心図）	36
津波防災マップ（港地区）	37・38
わが家の防災メモ・災害用伝言サービス	裏表紙

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第1245号）」

警戒レベルを用いた避難勧告等の発令

避難準備・高齢者等避難開始

（避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合）

□いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。

□**避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）**は避難を開始しましょう。

避難勧告

（災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合）

□**避難場所へ避難**をしましょう。

□**地下空間にいる人**は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。

避難指示（緊急）

（災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合）

□まだ避難していない場合は、**直ちに**その場から避難をしましょう。

□**外出することでかえって命に危険が及ぶような状況**では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

警戒レベル	住民が取るべき行動	避難情報等	住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報（警戒レベル相当情報）			
			洪水に関する情報		土砂災害に関する情報	高潮に関する情報
			水位情報がある場合	水位情報がない場合		
5	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。	災害発生情報※1 ※1 可能な範囲で発令	氾濫発生情報	（大雨特別警報（浸水害））※3	（大雨特別警報（土砂災害））※3	
4	全員避難	・避難指示（緊急）※2 ・避難勧告 ※2 緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令	氾濫危険情報	・洪水警報の危険度分布（非常に危険）	・土砂災害警戒情報 ・土砂災害に関するメッシュ情報（非常に危険） ・土砂災害に関するメッシュ情報（極めて危険）※4	高潮特別警報 高潮警報
3	高齢者等は避難	避難準備・高齢者等避難開始	氾濫警戒情報	・洪水警報 ・洪水警報の危険度分布（警戒）	・大雨警報（土砂災害） ・土砂災害に関するメッシュ情報（警戒）	高潮警報に切り替える可能性が高い注意報
2	避難に備え自らの避難行動を確認する。	洪水注意報 大雨注意報	氾濫注意情報	・洪水警報の危険度分布（注意）	・土砂災害に関するメッシュ情報（注意）	高潮注意報
1	災害への心構えを高める。	早期注意情報				

※3 大雨特別警報は、洪水や土砂災害の発生情報ではないものの、災害が既に発生している蓋然性が極めて高い情報として、警戒レベル5相当情報［洪水］や警戒レベル5相当情報［土砂災害］として運用する。ただし、市町村長は警戒レベル5の災害発生情報の発令基準としては用いない。

※4「極めて危険」については、現行では避難指示（緊急）の発令を判断するための情報であるが、今後、技術的な改善を進めた段階で、警戒レベルへの位置付けを改めて検討する。

市町村が発令する避難勧告等は、市町村が総合的に判断して発令するものであることから、警戒レベル相当情報が出されたとしても発令されないことがある。

本ガイドラインでは、土砂災害警戒判定メッシュ情報（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）、都道府県が提供する土砂災害危険度情報をまとめて「土砂災害に関するメッシュ情報」と呼ぶ。

気象庁が発表する情報について

気象庁は、大雨や暴風などによって発生する災害の防止・軽減のため、気象警報・注意報や気象情報などの防災気象情報を発表しています。

雨（土砂災害・浸水害・洪水）・雪に関する気象情報と町民の行動

いつ	警報･注意報	町民の行動	防災情報入手方法
普段から	雨(雪) が降り出す、大雨（大雪）になる恐れ	・気象情報、空の変化に注意 ・普段から避難場所や避難経路を確認する ・家族で集合場所や連絡方法を話し合う	・テレビリモコンの「dボタン」 地上デジタル放送のデータ放送から防災情報を確認できます。 ・ラジオ ・気象庁ウェブサイト 「警報級の可能性」「警報・注意報」の危険度が高まる時間帯を発表しています。 http://www.jma.go.jp/jp/warn/ ・緊急速報メール 災害・避難情報等を、災害発生対象地区内の携帯電話やスマートフォンに同報配信できるサービス。 自分の携帯電話やスマートフォンが緊急速報メールを受信できる設定になっているか確認してください。
雨(雪)が強くなる	大雨注意報 洪水注意報 大雪注意報	・最新の気象情報に注意して災害に備えた早めの準備 ・町が発表する避難に関する情報に注意する ・雨（雪）・風の影響を受けやすい地区、避難行動に支援を必要とする方は早めの避難準備を行う	
大雨(大雪)が降り続く	大雨警報(土砂災害、浸水害) 洪水警報 大雪警報	・町が発表する避難に関する情報に注意する ・必要に応じて速やかに避難する（早めの行動）	
さらに激しい大雨(大雪)が続く	大雨特別警報(土砂災害、浸水害) 暴風雪特別警報	・ただちに身を守る行動をとる ・町が発令する避難勧告等に従いただちに避難所に避難する ・外出が危険な時は、家の中で少しでも安全な場所に移動する	

気象警報・注意報の種類

特別警報	大雨（土砂災害、浸水害）、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
警　　報	大雨（土砂災害、浸水害）、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
注 意 報	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪

特別警報をご存知ですか？　特別警報の発表基準

現象の種類	基　　準	
大　雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴　風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高　潮		高潮になると予想される場合
波　浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大　雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の”数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

大津波警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基　　準
津　波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合（大津波警報を特別警報に位置づける）
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 （噴火警報（噴火警戒レベル4以上）及び噴火警報（居住地域）を特別警報に位置づける）
地　震 （地震動）	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 （緊急地震速報（震度6弱以上）を特別警報に位置づける）

特別警報が発表されたら

- **尋常でない大雨や津波等が予想されています。**
- **重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。**
- **ただちに身を守るために最善を尽くしてください。**

詳しくは気象庁ウェブサイトをご覧ください

気象警報・注意報　http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/warning.html

特別警報　http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/tokubetsu-keiho/

津波対策

津波から命を守るためには、「強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら」・・・すぐに避難！！「揺れが無くても津波警報を見聞きしたら」・・・すぐに避難！！

津波警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

マグニチュード8を超えるような巨大地震の場合

「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます

- **巨大地震**の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における**最大級の津波を想定して**、大津波警報や津波警報を発表します。
  これにより、津波の高さを小さく予想することを防ぎます。
- このとき、最初の津波警報では、予想される津波の高さを、**「巨大」、「高い」という言葉**で発表して**非常事態**であることを伝えます。

「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、ただちにより高い場所に避難しましょう!

正確な地震の規模が分かった場合

予想される津波の高さを、1m、3m、5m、10m、10m超の５段階で発表します

「津波の高さ」は津波がない場合の海面からの高さです。津波が 陸上で崖 などを駆け上った高さは、津波の高さの何倍にも達することがあります。

避難の際にはご近所にも声をかけあい、地域で協力し合う避難を心がけましょう。！

お年寄りや体の不自由な方などの避難に協力しましょう。

水深が浅くなるほど、津波の高さは高くなります。
また V 字型の湾では急激に高くなります。

陸上に遡上した津波も早いので、津波を見てからでは逃げられません。

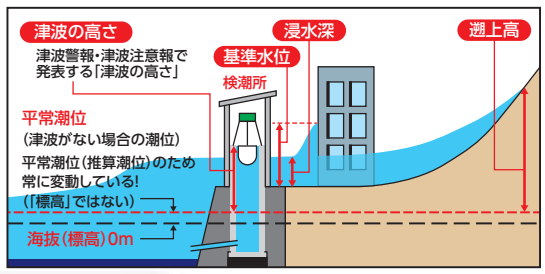
津波は繰り返し襲ってきます。必ずしも第一波が最大とは限りません。少なくとも津波警報が解除されるまで警戒が必要です。

津波注意報でも、海辺や川べりには近づかないようにしましょう。

津波に関する情報

津波警報の発表後、沖合や沿岸の観測点で観測した津波の高さや到達時刻を発表します。

- 高い津波が来る前は、津波の高さを「観測中」として発表します。
- 沖合で観測された津波の情報をいち早く伝えます。



津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超（10m<高さ）	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m（5m<高さ≦10m）			
	5m（3m<高さ≦5m）			
津波警報	3m（1m<高さ≦3m）	高い		標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m（20cm≦高さ≦1m）	（表記しない）	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

※津波警報等の発表時には、各区分の**高い方の値**を、予想される津波の高さとして発表します。

（※気象庁ホームページより大部分を抜粋）

洪水ハザード情報について

水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 洪水浸水想定区域について

●蘭越町防災ガイド・マップで使用している浸水情報は、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域を示したものです。
尻別川が、大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したものです。
自分の住んでいる地区がどの程度浸水する可能性があるのか確認してください。

●蘭越町防災ガイド・マップには、「想定最大規模」の浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を示しています。

●雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水の深さとなったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水する可能性があります。

●川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害（床上・床下浸水など）が起こる場合がありますので十分注意してください。

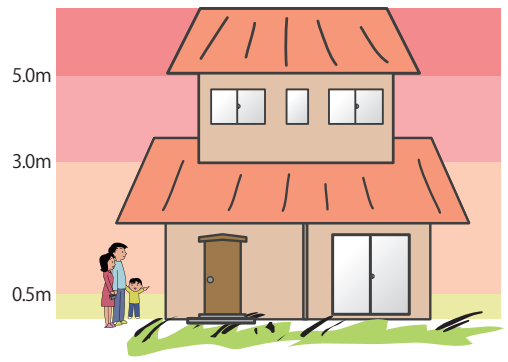
●浸水の深さの目安

・川が氾濫した時には、浸水が始まる前に避難をはじめてください。

・大雨が夜に予想されているときは特に注意してください。暗くなってから大雨の中の避難は危険です。「自分の地域で雨が降り続いている」「近くの川の上流で、雨が降り続いている」場合は、天気予報を見て暗くなる前の早めの避難を心がけてください。

・浸水が始まってからの避難は危険です。外に避難することが危険な場合は、建物の高い場所（２階以上）で待機しましょう。

10m 以上の区域	――――
5.0～10m 未満の区域	2 階の屋根以上が浸水する程度
3.0～5.0m 未満の区域	2 階の軒下まで浸水する程度
0.5～3.0m 未満の区域	1 階の全てが浸水する程度
0～0.5m 未満の区域	大人の膝までつかる程度



2 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報（気象庁）

●洪水によって災害が発生するおそれがある場合、その旨を注意して行う。

洪水警報（気象庁）

●洪水によって重大な災害が発生するおそれがある場合、その旨を警告して行う。

■水害リスクライン
https://frl.river.go.jp

指定河川洪水予報（気象庁・国土交通省・北海道）
　気象庁（札幌管区気象台）は河川を管理する国土交通省（小樽開発建設部）又は北海道と共同で、あらかじめ指定した河川について、水位又は流量を示した洪水の予報を行っています。
　蘭越町が関係する洪水予報指定河川：尻別川

洪水予報の種類

河川の洪水予報は、次の４種類があります。
①氾濫注意情報：氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる時
②氾濫警戒情報：避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる時、あるいは水位予測に基づき氾濫危険水位に達すると見込まれた時
③氾濫危険情報：氾濫危険水位に到達した時
④氾濫発生情報：氾濫が発生した時

レベル	水位	発表する警報等の名称
5	氾濫の発生	○○川氾濫発生情報
4危険	氾濫危険水位	○○川氾濫危険情報
3警戒	避難判断水位	○○川氾濫警戒情報
2注意	氾濫注意水位	○○川氾濫注意情報
1	水防団待機水位	

■指定河川洪水情報
http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/flood.html

洪水予報で発表される情報と水位の基準

洪水予報で発表される情報	水位に関する情報	
	水位	概要
氾濫発生情報	氾濫の発生	氾濫が発生（新たに氾濫が及ぶ区域の住民の避難誘導や救護活動等が必要になる）
氾濫危険情報	氾濫危険水位	河川が氾濫する恐れのある水位や安全に避難するために避難を開始すべき水位（町は避難勧告等を発令する場合は周辺状況を確認する必要がある）
氾濫警戒情報	避難判断水位	避難準備情報などの避難情報が発表される目安となる水位（町は「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」の発令判断）
氾濫注意情報	氾濫注意水位	河川の氾濫の発生を注意する水位（町は「避難準備・高齢者等避難開始」の発令判断）

詳しくは気象庁ウェブサイトをご覧ください

■川の防災情報
パソコン版　https://www.river.go. jp/
スマートフォン版　https://www.river.go. jp/s/

風水害対策

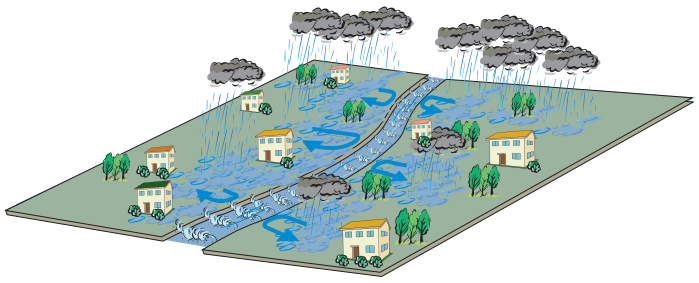
大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

川の氾濫

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

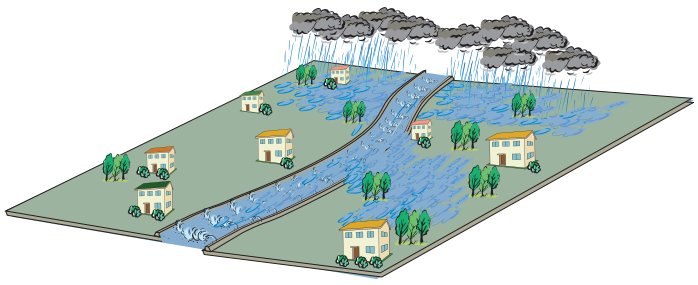
内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増すので、最大の注意が必要。



集中豪雨

- 集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
- 発生の予測は非常に困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

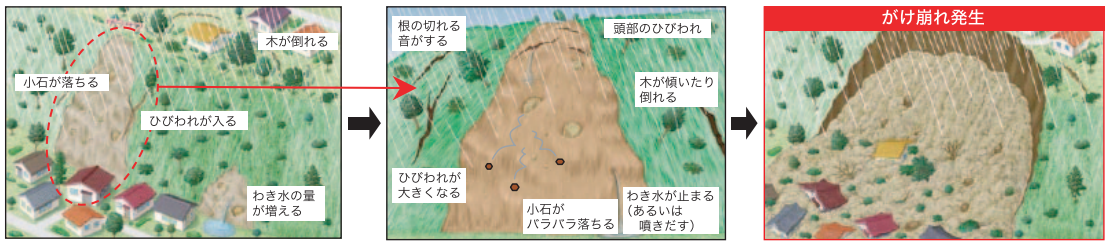
- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

土砂災害

■北海道土砂災害警戒情報システム
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kss/index.htm
パソコン版　http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/
スマートフォン版　http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/sp/

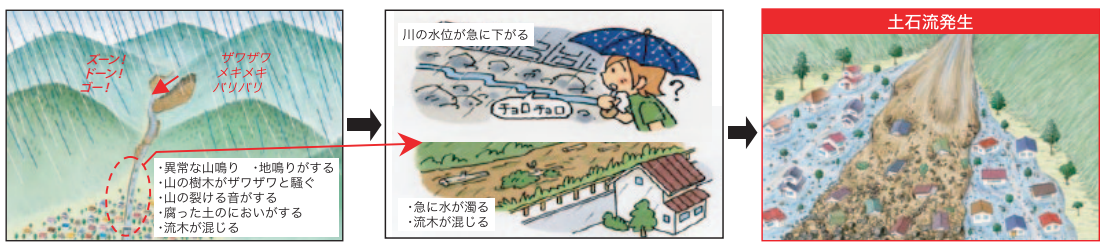
がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



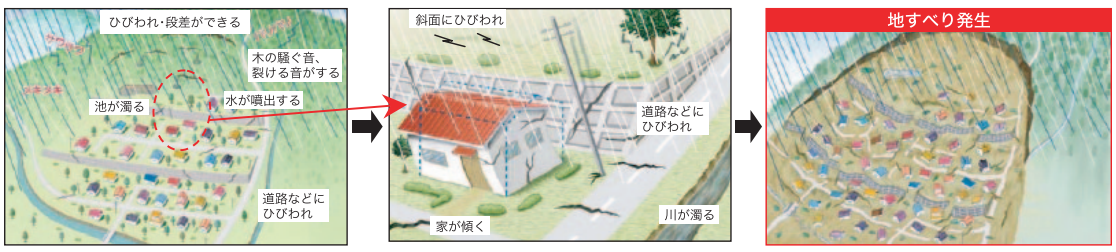
土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や田畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

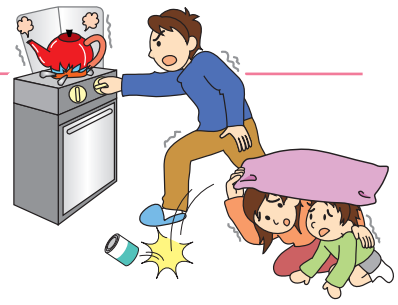
地震対策 地震発生！そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1～2分

最初の大きな揺れは約1分間



- **まず身を守る安全確保**
  「地震から身を守る安全行動1－2－3」を身につけておきましょう。
  安全行動＝①姿勢を低く　②体・頭を守って　③揺れが収まるまでじっとして
- **すぐに火を消せるときは火を消す**
- **大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する**

揺れがおさまったら

- **火元を確認**　火が出たら、落ち着いて初期消火
- **家族の安全を確認**　倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- **靴をはく**　家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- **避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意**

3分

みんなの無事を確認　火災の発生を防ぐ

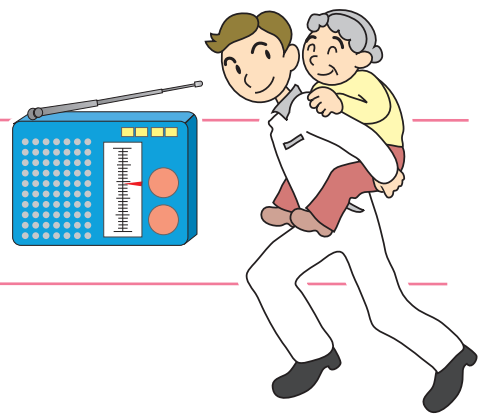
隣近所に声をかけよう
- **要配慮者の安全確保**　**隣近所で助け合う**
- **行方不明者はいないか**　**ケガ人はいないか**

出火防止 初期消火
- **漏電・ガス漏れに注意**　電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める
- **消火器を使う**　**バケツリレー**　風呂の水はため置きをしておく

津波の有無を確認
- **地震のあとには津波が襲来**

5分

ラジオなどで正しい情報を



- **大声で知らせる**　**災害・被害情報の収集**
- **デマにまどわされないように**　**電話は緊急連絡を優先する**

10分 ▼ 数時間 ▼ 3日

協力して消火活動、救出・救護活動を

- **水、食料は蓄えているものでまかなう**　3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- **救出・救護活動**　**無理な行動はやめよう**
- **助け合いの心が大切**　**壊れた家に入らない**

屋内にいた場合

家の中

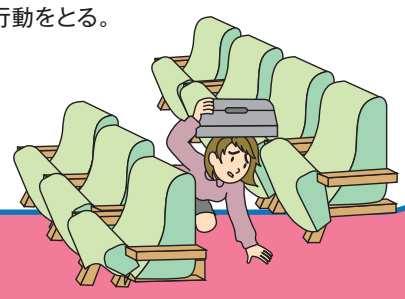
- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに（コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに）。
- 高齢者、乳幼児など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない（ガラスの破片などでケガをする）。

デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウやショーケースなどから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

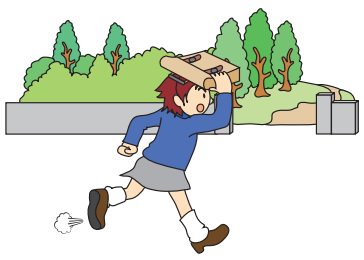
劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示に従う。あわてずに冷静な行動をとる。



屋外にいた場合

路　上



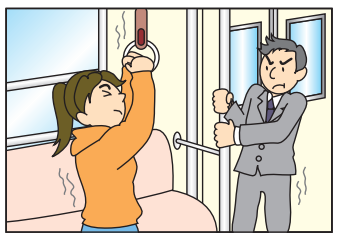
- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に近づかない。

車を運転中

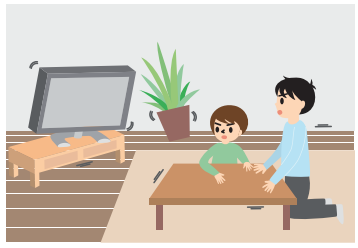
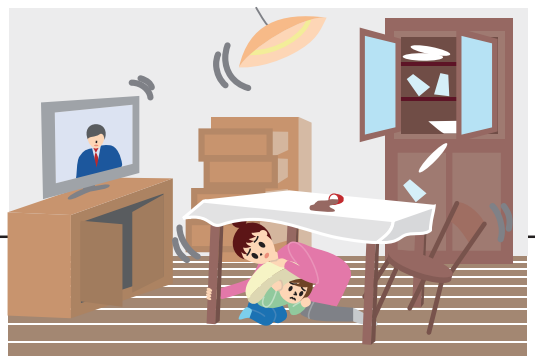
- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

列車・バスなどの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



地震の震度表

震度	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
4	●歩いている人のほとんどが揺れを感じる。 ●眠っている人のほとんどが目を覚ます。	●電灯などが大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ●すわりの悪い置物が倒れることがある。	●電線が大きく揺れる。 ●自動車を運転していて揺れに気づく人がいる。
5弱	●大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと思う。 	●電灯などの吊り下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●すわりの悪い置物の大半が倒れる。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定な物は倒れることがある。	●まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 ●電柱が揺れるのがわかる。 ●道路に被害が生じることがある。
5強	●大半の人が物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	●棚にある食器類や書棚の本で落ちる物がある。 ●テレビが台から落ちることがある。 ●固定していない家具が倒れることがある。 	●窓ガラスが割れて落ちることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。 ●据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。 ●自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	●立っていることが困難になる。 	●固定していない家具の大半が移動し、倒れる物がある。 ●ドアが開かなくなることがある。	●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	●立っていることが出来ず、はわないと動くことが出来ない。	●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなる。 	●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。 ●補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	●揺れに翻弄され、動くことも出来ず、飛ばされることもある。	●固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶことがある。	●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。 ●補強されているブロック塀も破損する物がある。

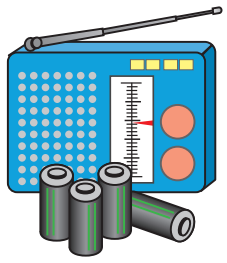
非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品（例）

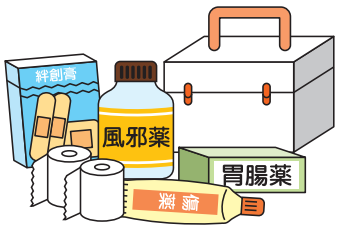
事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

携帯ラジオ



- □ ラジオ
- □ 電池（多めに用意）

救急医療品

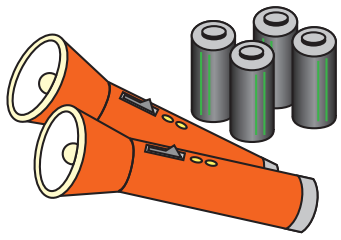


- □ 持病薬
- □ 絆創膏
- □ 傷薬
- □ 包帯
- □ 風邪薬
- □ 胃腸薬
- □ 鎮痛剤

貴重品

- □ 現金
- □ 預金通帳
- □ 印鑑
- □ 免許証
- □ 健康保険証
- □ 権利証書

懐中電灯



- □ 懐中電灯（出来れば一人にひとつ）
- □ 電池（多めに用意）

非常食品

火を通さないで食べられるもの、食器など

- □ カンパン
- □ 缶詰
- □ 非常用食品
- □ ミネラルウォーター
- □ 缶切り
- □ 栓抜き
- □ 紙皿
- □ 紙コップ
- □ 水筒

その他

- □ 衣類（下着・上着など）
- □ タオル
- □ 生理用品
- □ 粉ミルク
- □ 離乳食
- □ 紙おむつ
- □ ウェットティッシュ
- □ 雨具
- □ ヘルメット
- □ ライター
- □ ラップフィルム（止血や食器にかぶせて使う）
- □ 防災マップ（本書）
- □ 防寒具（時季による）

非常時用備蓄品（例）

災害復旧までの数日間（最低3日）を生活できるようにチェック☑しましょう。

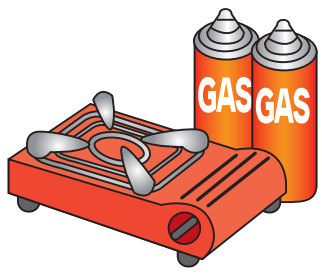
飲料水

- □ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター（1人1日3リットルを目安に）
- □ 貯水したポリタンクなど

非常食品

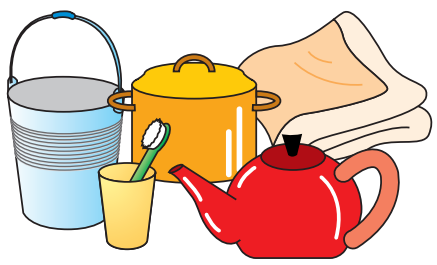
- □ お米（アルファ米も便利）
- □ 缶詰・レトルト食品
- □ 梅干し・調味料など
- □ ドライフーズ・チョコレート・アメ（菓子類など）

燃　料



- □ 卓上コンロ
- □ ガスボンベ
- □ 固形燃料

その他



- □ 生活用水（風呂・洗濯機などに貯水）
- □ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- □ 調理器具（なべ・やかんなど）
- □ バケツ・各種アウトドア用品など

非常時持出品は定期的に点検を！

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具（マジックなど）、スコップなど。

阪神・淡路大震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するときに支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

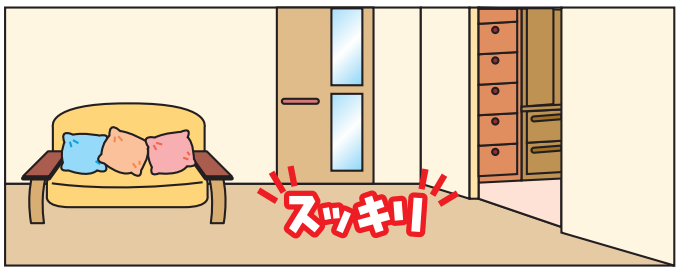
わが家の防災対策を確認しよう

家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

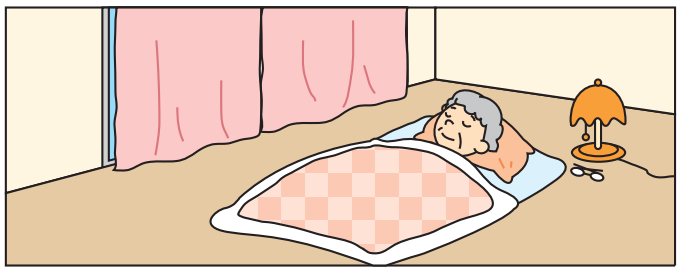
1 □ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



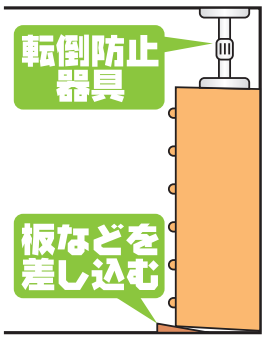
2 □ 寝室、高齢者、乳幼児などのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。高齢者、乳幼児などは逃げ遅れる危険性がある。



3 □ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



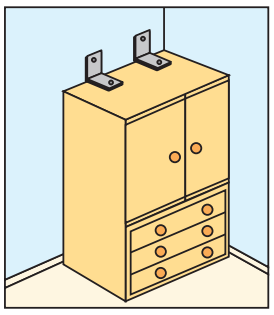
4 □ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

家具の転倒、落下を防ぐ

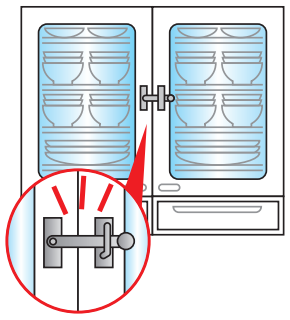
タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



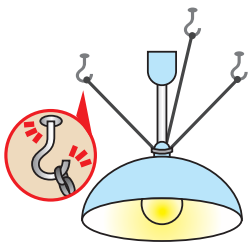
食器棚

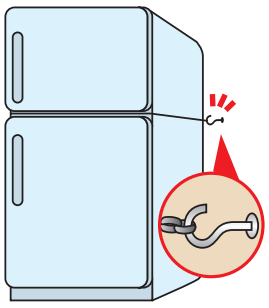
L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



照　明

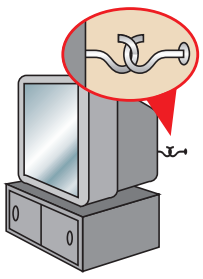
チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。





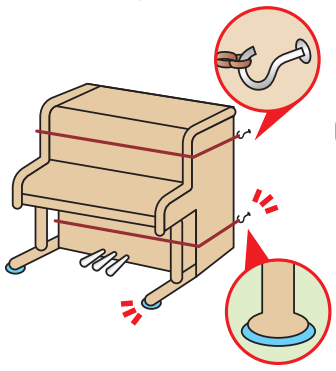
冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く（家具の上はさける）。

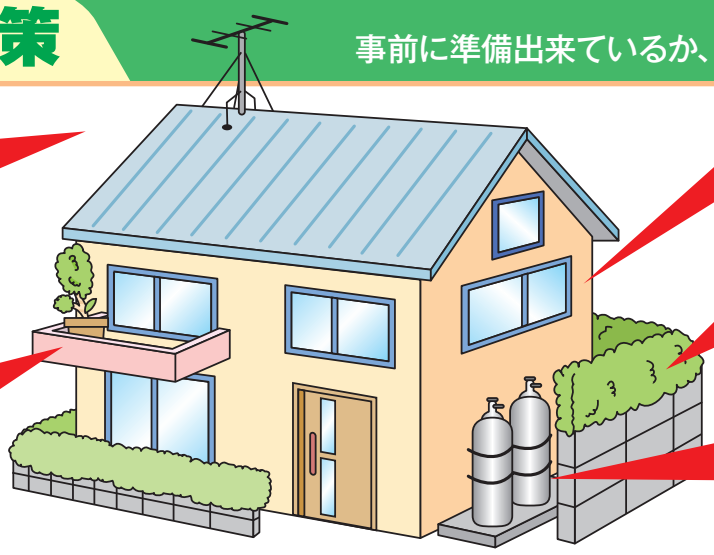


ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。



□ 屋　根

テレビアンテナはしっかり固定しましょう。トタンのめくれを確認・補強しましょう。

□ ベランダ

植木鉢などは室内に入れましょう。落ちる危険がある場合には何も置かない。

□ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはりましょう。網戸が強風で飛ばないようにしましょう。

□ 塀・門柱

塀のひび割れや傾きを確認しましょう。

□ プロパンガスボンベ・灯油タンク

しっかり固定しましょう。

原子力防災対策①

「原子力防災対策」の基本事項

【対策の目的】

原子力災害時に町民の皆さんの生命及び身体の安全を確保し、放射線から身を守るためには、行政機関などからの指示（防護措置といいます。）を迅速・適切に実施することが重要となります。

町民の皆さんが落ち着いて適切な行動がとれるよう、基本となる事項についての情報の提供に努めます。

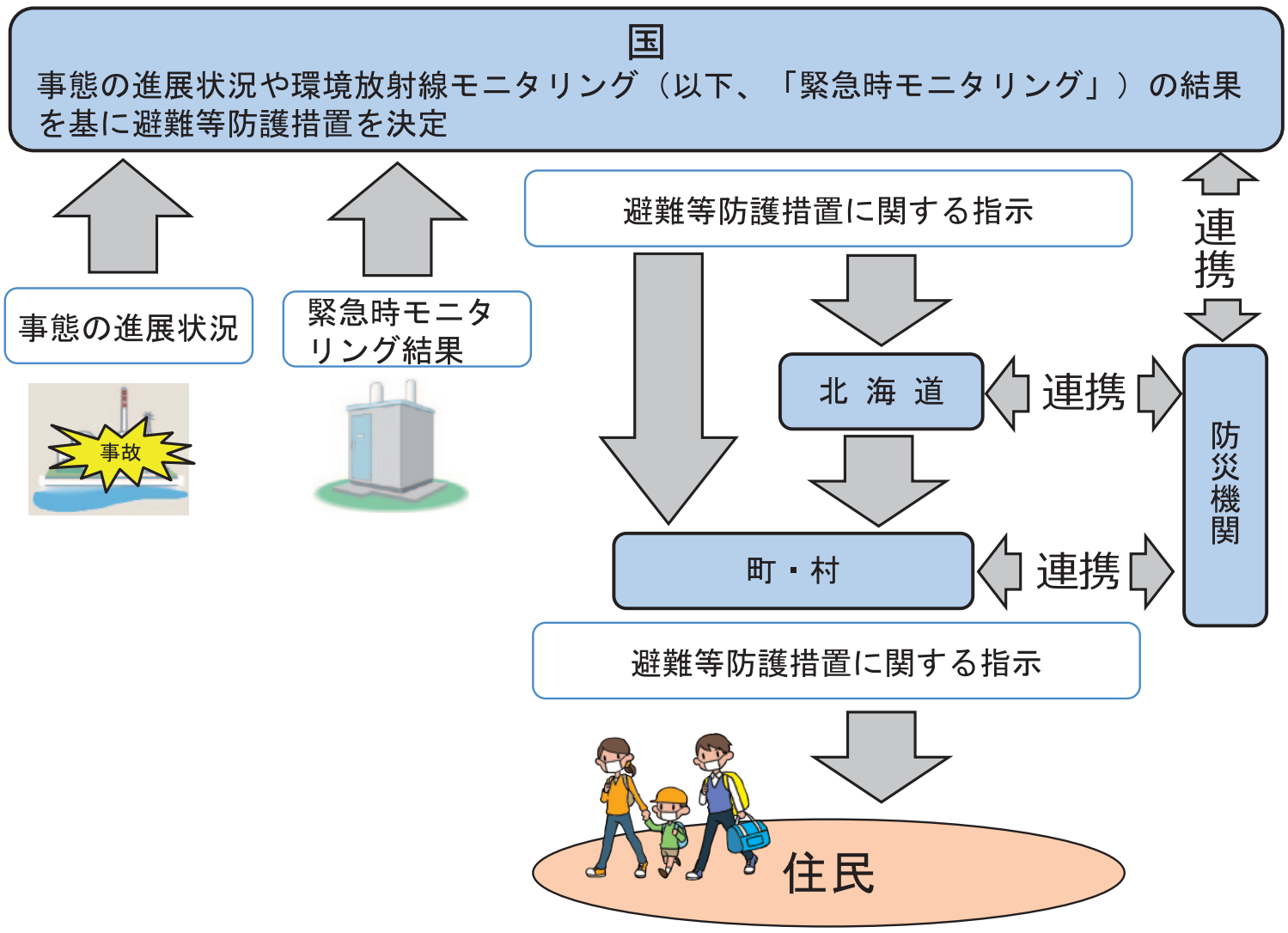
【原子力災害の特殊性】

- 放射線は目に見えず、臭いもなく、人間が感じることができません。
- 被ばくや汚染により復旧・復興作業が極めて困難です。
- 放射線被ばくから長期間経過後に健康への影響が現れる可能性があります。
- 専門的知識を有する機関の役割、当該機関の指示、助言等が重要となります。

※　原子力災害対策指針に定められた「防護措置」の主な種類は、次のとおりです。
①屋内退避
②避難及び一時移転
③安定ヨウ素剤の予防服用
④原子力災害医療
⑤避難退域時検査及び除染
⑥飲食物の摂取制限

※　原子力災害対策指針は、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、平成24年10月に原子力規制委員会が新たに策定したものです。

避難等防護措置に関する指示が出される仕組みと伝達経路



原子力防災対策②

ＰＡＺとＵＰＺについて

皆さんの防護措置を実施するに当たって、適切な行動の確保と混乱の防止を図るため、原子力災害対策を重点的に実施すべき区域を次のとおり設定しています。

PAZ：予防的防護措置準備区域

特定の事故事象が発生したら直ちに避難等を実施する区域。泊発電所から概ね５ｋｍ圏内の地域。

UPZ：緊急防護措置準備区域

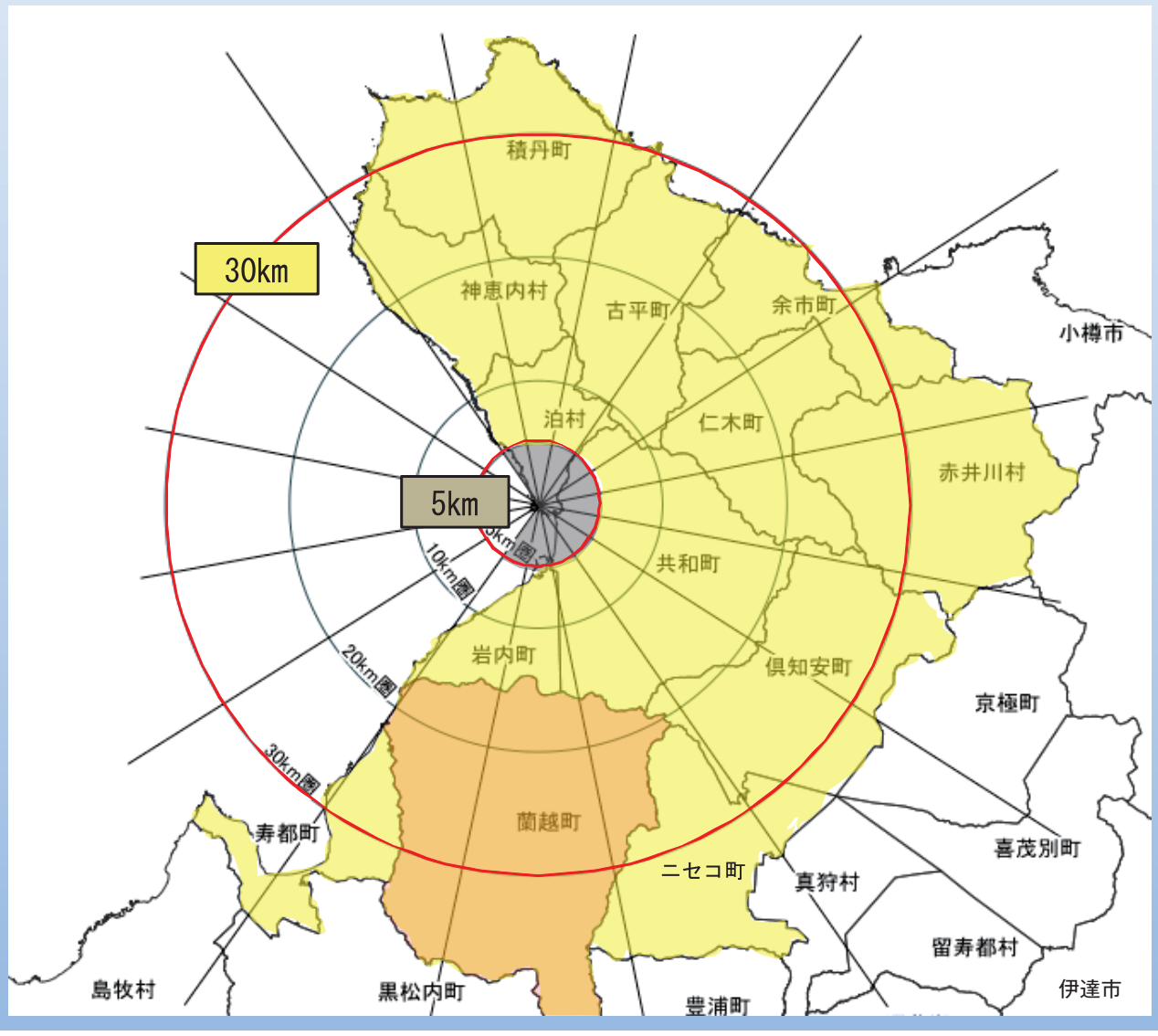
事故の不確実性や急速に進展する事故の可能性などを踏まえ、屋内退避や避難等を準備する区域。泊発電所から概ね３０ｋｍ圏内の地域。

蘭越町は、全域をＵＰＺと定めています。

※「原子力災害対策重点区域」とは、あらかじめ異常事態の発生を仮定し、原子力災害に特有な対策が講じられる区域です。

ＰＡＺ：Precautionary Action Zone　の略称
ＵＰＺ：Urgent Protective Action Planning Zone　の略称

PAZ及びUPZ



原子力防災対策③

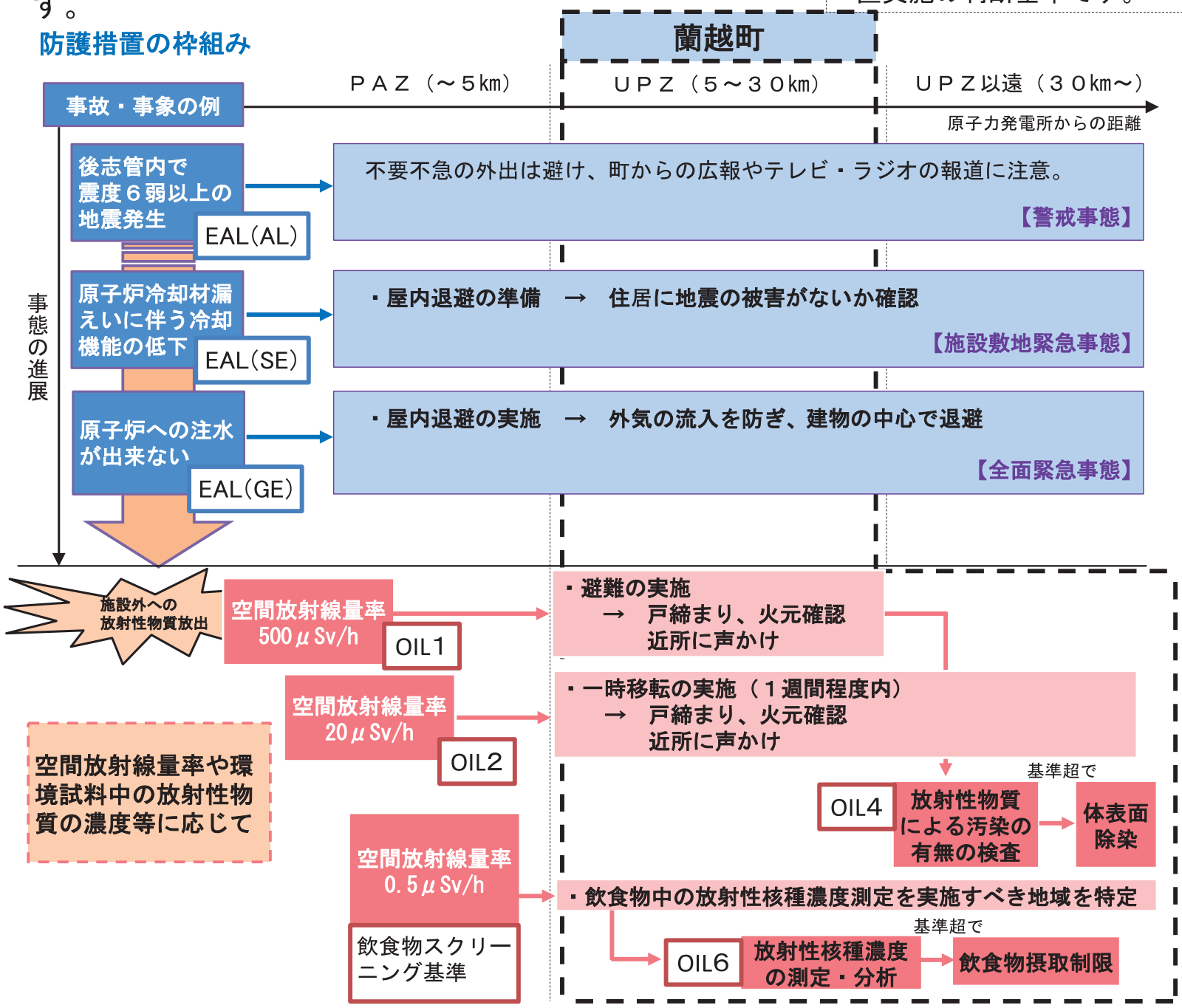
緊急時における防護措置の考え方

国では、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、放射性物質の放出開始前から必要な防護措置を講じるため、原子力災害対策指針（以下「指針」）を策定しました。

この指針ではＩＡＥＡ（国際原子力機関）等が定める防護措置の枠組みの考え方を踏まえて、初期対応の段階から、施設の状況に応じて緊急事態の区分を決定し、予防的防護措置を実行するとともに、空間放射線量率など観測可能な指標に基づき緊急時防護措置を迅速に実行できるよう意思決定の枠組みを構築しています。

※ＥＡＬとは？
- 原子力施設の状況に応じた、緊急事態区分を判断するための基準です。
- 緊急事態を３つに区分し、各区分における原子力事業者、国、地方公共団体が果たすべき役割（予防的防護措置）を定めています。

※ＯＩＬとは？
- 空間放射線量率や環境試料中の放射性物質の濃度等の計測可能な値による防護措置実施の判断基準です。



※避難または一時移転の際には、必要に応じて安定ヨウ素剤を服用することがあります。
※自然災害による差し迫った危険がある場合には、生命の安全確保を優先して対応することになります。
※例）暴風雪時は、天気が回復するまで屋内退避を優先し、天気回復後に速やかな避難等を実施します。
※事態の規模、時間的な推移や現地の状況に応じて措置を早める場合があります。

原子力防災対策④

Nuclear Disaster Countermeasures ④

どのように知らせてくれるの？

Nuclear disasters: Information & Communication Systems

泊発電所において事故などが起こった場合、国や道、町からテレビ、ラジオ、行政通信システムなど様々な手段を使って、皆さんのとるべき行動など必要な情報を速やかにお知らせします。

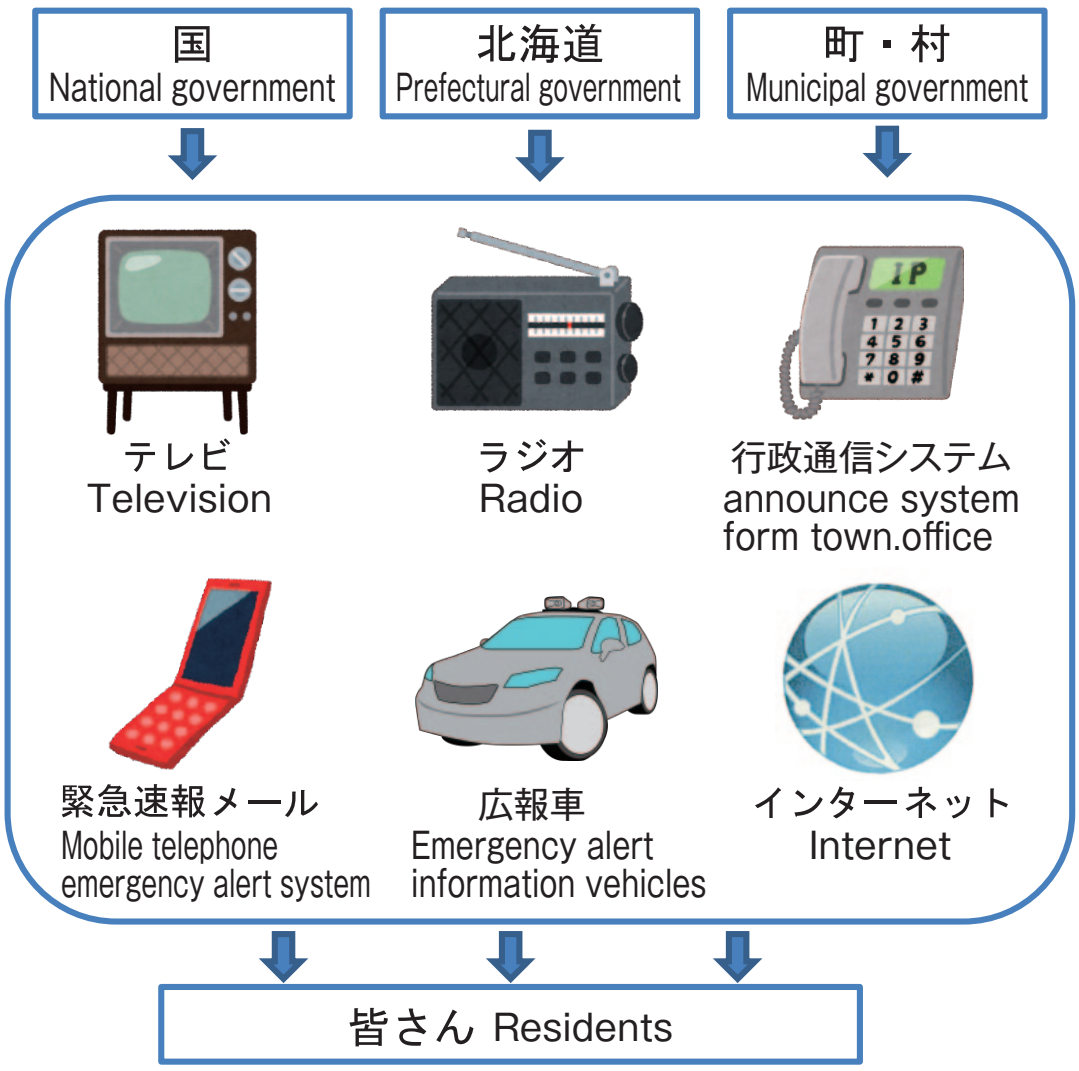
主な広報事項は、次のとおりです。

- 事故の概要
- 泊発電所における対策状況
- 災害の現況及び今後の予測
- 町及び道並びに防災機関の対策状況
- 町民等のとるべき措置及び注意事項
- その他必要と認める事項

In the case of an incident at Tomari Nuclear Plant, the national, prefectural and municipal government will swiftly spread information via television, radio, emergency radio broadcasts and other measures in order to inform town residents about the safety measures they should take.

Main information:

- Incident overview
- Countermeasures being implemented at Tomari Nuclear Plant
- Overview of the current situation and predictions
- Countermeasures being implemented by the civil emergency organs of the town and the prefecture
- Emergency measures and precautions for residents
- Other important matters



※原子力災害時の緊急情報は、こちらから

For further details on information & communication systems in the case of a nuclear disaster please see the following websites:

【原子力規制委員会情報】

〇緊急時情報ホームページ

(Nuclear Regulation Authority Information) Homepage for information in the case of a nuclear emergency

http://kinkyu.nsr.go.jp

〇緊急情報メールサービス

事前の配信登録により携帯電話にメールでお知らせ（携帯サイト）

Mobile telephone emergency alert system Early warning system providing information about nuclear emergencies (registration required) mobile site

http://kinkyu.nsr.go.jp/m/

【次の点に注意しましょう】

Be careful about the following:

・近隣や町内会の人たちと情報を共有しましょう。

Share information within your local community.

・うわさや憶測での行動はやめましょう。

Do not act based on rumors or speculations.

・緊急を要する電話以外、電話の使用は控えましょう。

Refrain from using phones unless it is an emergency.

避難経路（蘭越町～札幌市）

蘭越町

国道
５号

避難退域時検査場所候補地（12箇所）
・道の駅「らんこしふるさとの丘」
・旧目名小学校
・田下PA
・黒松内白井川PA
・道の駅「黒松内」
・道の駅「ニセコビュープラザ」
・ニセコ町運動公園
・羊蹄山自然公園
・ルスツリゾート
・道の駅「230ルスツ」
・喜茂別町農村環境改善センター
・喜茂別町町民公園

黒松内ＩＣ

○ 避難（移動）手段
自家用車、指定のバス
○ 避難退域時検査
事故の状況を踏まえ、避難の途中で放射性物質の付着状況を検査し、一時滞在場所へ向かいます。（検査場所は道が指定）

道央道

一時滞在場所（札幌コンベンションセンター）
・所在地：札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1　・緊急時連絡先：011-817-1010

避難先（札幌市内　宿泊施設）

避　難　経　路　　※気象及び交通状況により変更あり。		
町 村 名	避　難　経　路	避　難　先
蘭 越 町	〔基本経路〕国道5号→道央道［黒松内IC］ 〔代替経路〕国道5号→道道66号→国道230号→国道276号→国道453号	札幌市

要配慮者とは？

災害が発生したときは、高齢者や心身に障がいのある人、子どもや妊婦などの要配慮者の方には特別の配慮が必要です。身近にいる要配慮者の方々への手助け、心くばりを心がけてください。

対象となる方は

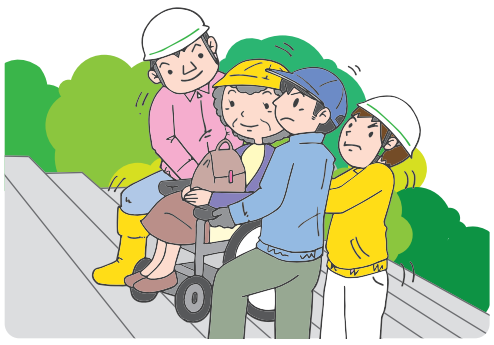
- 介護・支援が必要な高齢者
- 知的障がいのある方
- 肢体不自由のある方
- 精神の障がいのある方
- 内部障がいのある方
- 妊産婦、乳幼児
- 視覚に障がいのある方
- 保育園児・小学生
- 聴覚に障がいのある方
- 日本語が不自由な外国人
- 音声・言語機能障がいのある方
- 災害時負傷者、帰宅困難者、旅行者

避難行動要支援者

蘭越町では、要配慮者のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難で、特に支援を必要とする方々を『避難行動要支援者』として把握し、支援します。

1. 70歳以上のみの世帯員
2. 要介護認定３～５を受けている者
3. 身体障害者手帳１級～２級を所持する者
4. 療育手帳Ａを所持する知的障がい者
5. 精神障害者保健福祉手帳を所持する者

その他、特別な事情で支援を希望する者
（日本語に不慣れな外国人、難病者、妊産婦等）



避難支援等関係者による支援

災害が起こり避難勧告や避難指示があった時、避難支援等関係者による避難支援（災害に関する情報を伝えてもらったり、一緒に避難するなどの支援）や安否確認が行われます。

ただし、避難支援者が被災するなどにより、支援を受けられない場合もありますので、確実な避難を約束するものではありません。

火災対策　火災発生！そんなときどうする

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。
初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1 早く知らせる

●「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
●小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2 早く消火する

●出火から3分以内が消火できる限度。
●水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のものを活用する。

火元別初期消火のコツ

油なべ
あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

石油ストーブ
真上から一気に水をかけて消火（斜めにかけると石油が飛び散って危険）。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

衣　類
着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類（化繊は避ける）やタオルなどを頭からかぶる。

風呂場
風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

電気製品
いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて（できればブレーカーも切る）消火を。

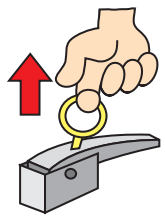
カーテン・ふすま
カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

3 早く逃げる

●天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
●避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。

消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指をかけ上に引き抜く。

ホースをはずして火元に向ける。

レバーを強く握って噴射する。

消火器のかまえ方

●風上に回り風上から消す。火災にはまともに正対しないように。
●やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
●燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

火災予防が一番!!

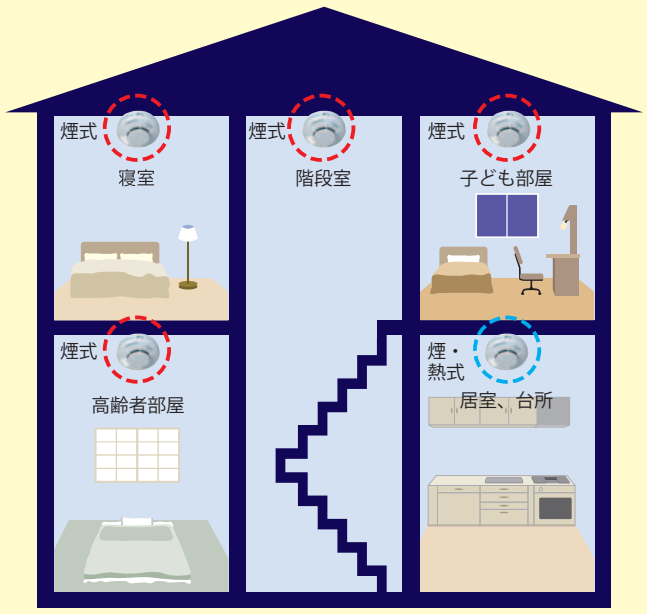
住宅用火災警報器（住警器）の適正な設置と維持管理を

平成２３年６月までに住警器の設置が義務付けられました。

【未だ設置していない世帯の方へ】住警器は人間の五感に替わり火災を感知するための機器です。火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。
【既に設置している世帯の方へ】住警器の電池や本体には寿命があります。定期的に点検を行い、計画的な交換をお願いします。

設置する場所

○寝室…すべての寝室（子ども部屋や高齢者の居室が寝室として使われている場合も含みます）へ設置が必要です。
○階段…寝室が２階以上にある場合には設置必要です。
○台所・居室への設置もお勧めします。
○その他…寝室のない階でも、4.5畳以上の部屋が5部屋以上ある場合は、廊下に設置が必要です。



住宅内取付位置図

暴風雪対策

暴風雪の被害に遭わないために

暴風雪による被害は晴天から悪天へと天気が急変したときに多く発生しています。
暴風雪が予想されているときは、無理をせずに家で過ごすなど外出を避けましょう。
「外出しないこと」が身の安全を守るための最善の対策です。
外出しているときに悪天が予想されていると知ったときは、今の天気が良くても油断することなく、最新の気象情報や道路情報などを事前に十分確認しましょう。
気象台から「数年に一度の猛ふぶき」、「外出は控えてください」といった情報が発表されたら、厳重に警戒してください。

車で外出するときに気をつけること

1　携帯電話を忘れずに所持しましょう。
2　万が一に備えて、飲料水や非常食を用意しましょう。
3　やむを得ず外出をしなければならない場合には、道路状況に応じた無理のない運転を心がけましょう。
4　立ち往生する可能性もあるので、防寒着・長靴・手袋・スコップ・けん引ロープなどを車に用意するとともに、燃料を確認しておきましょう。
5　運転をしていて、地吹雪などにより身の危険を感じたら、道の駅駐車場・コンビニエンスストア・ガソリンスタンドなどで天候の回復を待ちましょう。
6　大雪や吹きだまりなどで車が立ち往生したときは、JAFなどのロードサービスや近くの人家などに必ず救助を依頼してください。また、ハザードランプの点灯や停止表示板を置くなど、車が目立つようにしてください。
7　避難できる場所や近くに人家がない場合は、消防（119番）や警察（110番）に連絡して、車の中で救助に備えてください。
8　車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。車には防寒着や毛布等を備えておきエンジン停止時に暖をとるようにしてください。
9　車が雪に埋まったときに防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは、窓を開けて換気し、こまめにマフラーまわりを除雪してください。

★ 車の常備品（吹きだまりから脱出するため・車内で保温のために必要な主なもの）★

防寒着（上下）・長靴・手袋	ブースターケーブル	マスク	食料・飲料水
ヘッドライト	スノーヘルパー（脱出板）	ミトン（手袋）	防災ラジオ （ライト付き・携帯の充電ができる・手回しで充電できる）
スコップ	毛布	カイロ（使い捨てカイロ）	
けん引ロープ	帽子	寝袋・毛布	

★ 交通情報（通行止めの情報、気象状況が把握できます）★

北海道地区道路情報
http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/RoadInfo/index.htm

北海道の道路情報総合案内サイト（北の道ナビ）
http://northern-road.jp/navi/

家の中で安全に過ごすために

家の中でも暴風雪から身を守るための対策が必要です。特に停電時の備えは
1　停電に備えて懐中電灯・携帯ラジオ・防寒具・ポータブルストーブ等を準備しておきましょう。ポータブルストーブやカセットコンロを使う時は換気を良くして使用しましょう。
2　暴風雪による道路の通行止めで外出できない場合に備えて、食料や飲料水、日用品、日ごろから服用している薬など、万が一のために備えておきましょう。
3　ＦＦ式暖房機などを使用している場合、給排気口が雪でふさがれると一酸化炭素中毒を起こすおそれがありますので、定期的に給排気口が雪でふさがれていないか確認してください。

★ 家の常備品（停電への備え）★

食料・飲料水	防寒着（上下）	防災ラジオ （ライト付き・携帯の充電ができる・手回しで充電できる）	懐中電灯	ポータブルストーブ（電池式）・灯油	カセットコンロ・カセットボンベ

指定避難場所・避難所一覧

困ったときの連絡先

警察　110 番　火災・救急 119 番
海上保安庁 118 番　気象庁天気予報 0136-177

施設名	住所	電話番号・URL
蘭越町役場	蘭越町蘭越町 258 番地 5	0136-57-5111
倶知安警察署蘭越駐在所	蘭越町蘭越町 228 番地	0136-57-5003
羊蹄山ろく消防組合蘭越支署	蘭越町蘭越町 244 番地	0136-57-5010
羊蹄山ろく消防組合消防本部（災害情報ダイヤル）	倶知安町北３条東４丁目１番地３	0136-22-6655
北海道電力倶知安ネットワークセンター	倶知安町南１条西２丁目18	0120-06-0599
北海道電力（停電情報）	－	teiden-info.hepco.co.jp
NTT 東日本故障受付窓口	－	113(0120-444-113)
小樽開発建設部倶知安開発事務所（国道）	倶知安町北7条東１丁目4番地の9	0136-22-0133
小樽建設管理部蘭越出張所（道道）	蘭越町蘭越町 416 番地	0136-57-5121

医療機関

施設名	住所	電話番号
蘭越診療所	蘭越町蘭越町 156 番地	0136-57-5424
昆布診療所	蘭越町昆布町 24 番地 52	0136-58-2203
昆布温泉病院	蘭越町字黄金 118 番地	0136-58-2231
倶知安厚生病院	倶知安町北4条東1丁目2番地	0136-22-1141
急患受付　365 日 24 時間対応		

指定緊急避難場所 ・ 指定避難所

No.	避難区分		施設・場所名	所在地	電話番号	対象とする異常な現象の種類（指定緊急避難場所）					原子力災害時のバス避難集合場所	掲載頁
	指定緊急避難場所	指定避難所				洪水	地震	津波・高潮	内水氾濫	崖崩れ、土石流等		
①	○	○	昆布小学校・グラウンド	昆布町 309 番地 1	58-2240	○	○		○	○	○	30･36
②	○	○	総合体育館・総合運動公園	蘭越町 428 番地 1	57-6765	○	○		○	○	○	29
③	○	○	蘭越小学校・グラウンド	蘭越町 222 番地 1	57-5134	○	○		○	○	○	21･29
④	○	○	蘭越中学校・グラウンド	蘭越町 514 番地 1	57-6355	○	○		○	○	○	22･29
⑤	○	○	旧三和小学校・グラウンド	字三和 414 番地 1	行政通信 56-2011	○	○		○	○	○	28
⑥	○	○	旧名駒小学校・グラウンド	名駒町 396 番地	行政通信 56-7011	○	○		○	○	○	28
⑦	○	○	旧御成小学校・グラウンド	字御成 416 番地 1	行政通信 56-2830	○	○		○	○	○	23
⑧	○	○	旧目名小学校・目名サッカー場	目名町 221 番地	行政通信 55-3490	○	○		○	○	○	28
⑨	○		旧湯里小学校グラウンド	字湯里 131 番地	－	○			○	○		30
⑩	○		津波避難タワー（仮称）・旧港小学校グラウンド	港町 617 番地	－		○	○※		○		23･38
⑪	○		大照寺	港町 1438 番地 1	－			○				23･38
⑫	○		道道北尻別蘭越停車場線	港町 956 番地 9 地先	－			○				23･38
⑬	○		道道磯谷蘭越線	港町 180 番地 4 地先	－			○				23･38
⑭	○		鷲の沢神社	港町 430 番地	－			○				23
⑮		○	介護予防拠点センターみなと	港町 617 番地	行政通信 56-2221						○	23･38
⑯		○	日出ふれあいセンター	字日出 100 番地 6	行政通信 58-7771						○	30
⑰		○	黄金地区共同利用集会所	字黄金 277 番地	行政通信 58-7014						○	30･36
⑱		○	昆布活性化センター	昆布町 114 番地 4	行政通信 58-2110						○	30･36
⑲		○	蘭越上地域振興センター	蘭越町 944 番地 2	行政通信 57-6657						○	22･29
⑳		○	旧蘭越地区研修センター	蘭越町 491 番地	行政通信 57-6062						○	29
㉑		○	豊国上地区地域研修センター	字豊国 232 番地 2	行政通信 57-7749						○	29
㉒		○	豊国下集会所	字豊国 535 番地 1	行政通信 57-5244						○	21･29
㉓		○	蘭越町克雪管理センター	字富岡 419 番地 3	行政通信 57-6343						○	29
㉔		○	町民センターらぶちゃんホール	蘭越町 43 番地 1	57-5030						○	22･29
㉕		○	山村開発センター	蘭越町 258 番地 6	57-5286						○	21･29
㉖		○	ふれあいプラザ２１	蘭越町 8 番地 2	57-5203						○	21･29
㉗		○	法誓寺	字大谷 287 番地	57-5404						○	21･29
㉘		○	農村研修センター	字大谷 439 番地 11	行政通信 57-6581						○	28
㉙		○	大谷団地集会所	字大谷 357 番地 1	行政通信 57-7020						○	21･29
㉚		○	淀川コミュニティセンター	字大谷 510 番地 3	行政通信 57-5836						○	28
㉛		○	水上地区集会所	字水上 95 番地	行政通信 57-6079						○	29
㉜		○	地場産業振興コミュニティセンター	字吉国 922 番地 2	行政通信 57-5809						○	28
㉝		○	三和一町内会会館	字三和 381 番地 7	行政通信 56-2632						○	28
㉞		○	三和へき地保健福祉館	字三和 409 番地 1	行政通信 56-2351						○	28
㉟		○	名駒地区生活改善センター	名駒町 210 番地 10	行政通信 56-2360						○	28
㊱		○	御成地区生活改善センター	字御成 423 番地 5	行政通信 56-2361						○	23
㊲		○	初田地区集会所	字初田 248 番地 2	行政通信 56-2571						○	23
㊳		○	共栄農事組合研修センター	字共栄 111 番地 1	行政通信 56-7021						○	27
㊴		○	目名地区生活改善センター	目名町 393 番地 2	行政通信 55-3534						○	32
㊵		○	田下地区集会所	字田下 83 番地 2	行政通信 55-7753						○	32
㊶		○	港直売センター	港町 1390 番地 1	56-2700						○	23･38
㊷		○	港分団消防会館	港町 1415 番地 4	行政通信 56-7012						○	23･38
㊸		○	保健福祉センター（福祉避難所）	蘭越町 250 番地 1	57-6969						○	21･29

※津波避難タワー（仮称）建設後に指定予定。

わが家の防災メモ

記入日	
月 日	わが家の避難所
	家族の集合場所
	災害時の緊急連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	既往症	会社・学校の電話番号

災害用伝言サービス

災害用伝言ダイヤル171

録音　171 → 1 → 電話番号 → 録音

再生　171 → 2 → 電話番号 → 再生

※電話番号：被災地の電話番号を市外局番から。被災者は自宅の番号、被災地以外者は被災地の番号を。プッシュ式は、番号後に１＃を付加。

※録音は 30 秒以内。伝言保存期間は 48 時間。

！ 平常時にリハーサル・事前確認を！

●下記 URL や携帯メニューに利用法案内！

http://www.ntt.co.jp/saitai/171.html

●災害用伝言ダイヤル (171)･伝言板の体験利用

- 毎月1，15日
- 正月 (1月1日0:00～3日23:00)
- 防災週間 (8月30日9:00～9月5日 17:00)
- 防災とボランティア週間 (1月15日 9:00～21日17:00)

逃げなきゃコール

地域の登録⇒防災情報のプッシュ通知⇒コール⇒避難

NHK ニュース・防災　Yahoo! 防災速報　au 登録エリア災害・避難情報メール

災害用伝言板サービス

いつ使えるか？

パソコン (PC)	大規模災害発生時、サービスが開始される。
携帯電話	大規模災害発生時、トップメニューに「災害用伝言板」が表示される。
スマートフォン（スマホ）	災害用伝言板アプリを起動。 事前にアプリをダウンロードしておく。

メッセージの登録／確認方法

パソコン (PC)	災害用ブロードバンド伝言板（Web171） URL → https://www.web171.jp/

	ドコモ (docomo)	Soft Bank	au(KDDI)
携帯電話	i Menu →「災害安否確認」 →「安否の登録／確認」	Yahoo 携帯トップ →「災害用伝言板」 →「登録／確認」	EZ ボタン →「トップメニュー」 →「災害用伝言板」 →「登録／確認」
スマートフォン（スマホ）	[Android] d メニューアプリ起動 →「災害用安否確認」 →「安否の登録／確認」	[Android][iPhone] 災害用伝言板アプリ起動 →「災害用伝言板」 →「登録／確認」	[Android] au ポータル →「災害用伝言板」 →「登録／確認」 [iPhone] au 災害用伝言板アプリ起動 →「登録／確認」

J－anpi（安否情報まとめて検索サイト）

http://anpi.jp/

※検索キーは名前または電話番号

2019 年 9月　発　行　蘭越町役場　総務課

磯谷郡蘭越町蘭越町258番地5　TEL ０１３６－５７－５１１１㈹